



聖化の恵みを証ししていくために

関東聖化大会実行委員長
日本ホーリネス教団東京中央教会牧師 錦織 寛

毎年十月にもたれる聖化大会は私自身にとっても、修養生の時代からの年中行事です。夜の聖会だけでなく、毎年、立てられる講師たちによって導かれるセミナーや、ディスカッションの時、また女性大会や青年の集いなど、様々なプログラムを通して、聖化の恵みが語られ、整理されていきます。一般の信徒の方々にも、また聖化について深く掘り下げて学んでいこうとする方々にもぜひ、スケジュールに組み込んで参加していただきたいと思います。

けれども、この聖化大会は決してこの秋の三日間だけのものではありません。毎月一回の役員会や実行委員会の中で一年中、この聖化大会の準備がなされていきます。委員会に集まる方々は年齢も肩書きも違うのですが、そこにはそれらを越えた親しい交わりが生まれ、祈りが積み重ねていきます。そのありさまは、まさに聖化が具体的に見える形で証しされていくようです。誰が偉いとか偉くないとかではなく、それぞれの団体の責任ある立場に立っておられる方々が、まず率先して僕となつて仕えておられる：ここにも聖化大会に関わらせていただく喜びがあります。聖化の恵みは私たちをきよい神の御前に引き出します。そこで明らかにされるのは、貧しく、砕かれ、「滅びるばかり」の自分の姿です。けれども聖なる神がそんな私に触れてくださる。自分ががんばってきよくなつてというのではなく、触れてくださった神によってこんなに汚れた者が聖なる者とされるといふ、それはまさに恵みの世界です。そして御言を通してこの聖化がはつきりと語られ、その

恵みが受け止められて、一人一人がその恵みに生きていくときに、人は変えられ、教会も変わっていきます。それは実に鮮やかな主の御業です。教会の牧師として奉仕させていただきながら、一人の人が救われることと共に、一人のキリスト者がこの恵みにあずかって鮮やかに変えられ、教会が変わっていく、その様を見ることほどうれしいことはありません。聖化大会ではこの聖化の恵みについて学ぶと共に、一人でも多くの方々がこの恵みにあずかっていただきたいと願っています。もちろん、すでにこの恵みを経験した方々も「私はもう〇〇年前にきよめられたから、聖化は卒業！」と第三者的に遠巻きに見ているというのではなく、その恵みを確信し、その恵みの豊かさをもっと深く知っていただきたいのです。

聖会Ⅰ 『きよい望みに生きる』

(一ヨハネ3・1〜3)

J・ハリマン博士

この聖会Ⅰのテーマは、今日のテキストの3節からとられた。ウエスレーも標準説教の中の全き聖化について語るときに、このテキストを挙げていた。今日のために3つの質問をしたい。①私たちに對する神の關係、②神に對する私たちの關係、③私たちはどう生きるべきかである。

犯罪を犯して独房の中に入れられる囚人と、戦争で捕虜となつた囚人とは違ふ。後者は、いつかは自由にされるといふ望みをもっている。望みは私たちのたましいを力づけるすばらしいものである。

1、私たちに對する神の關係

このテキストは神を家族關係のことはで表わしている。本書でヨハネは「父なる神」を表わすことは12回用いている。これは新説ではない。旧約聖書でも、神を創造者なる父として(申命記32章6節)、彼らを担う父として(砂漠にて)、その子を愛をもって懲らしめる父として(申命記8章5節)、みなしご、やもめの父として(詩篇68篇5節)、永遠の賤い主なる父として(イザヤ)、若い者を導いて下さる父として(エレミヤ)、敬われるべき全人類の父として(マラキ)記している。聖書の中の「父としての神」

は、象徴以上の現実なのである。新約聖書では、「王」としての神より「父」としての神が4倍も多く記されている。聖書では、「主権者」として神であられる前に、「父」としての神が基本的なイメージであると言へる。このことから、4つの真理を見出す。①神は卓越した父・畏れとおのきをもつて崇められ、敬われるべき方。②神は聖なる父・父は聖いお方であり、キリストと一つであられる。これこそ今日のテキストが主に示そうとしていることである。③神は親密な父・このことは時とも關係している。ラフレターである聖書をじっくりと読むことが、父なる神との親密さにつながる。④神は近づきやすい父・神様はいつでも、その子のために惜しみなく時間をとってくださるお方である。

2、神に對する私たちの關係

私たちは、神の子として、無限に神に全く依存する存在である。ある者は依存を弱さととらえるが、有限な者が無限のお方に依存することは知恵である。そもそも私たちの命は、外からの助けによつて生まれたものである。しかし逆にイスラエル人は、神の民であることを誇っていた。大切なのは肉体的な

な血管ではなく、道徳的なきよさである。神は今日のテキストで、神の子が罪なく生きることを望んでおられる。

3、私たちがどのように生きるべきか

私たちが望みとしているものは何であろうか。それはキリストの再臨である。その時、私たちはキリストに似た者にされる。これが再臨の最大の目的である。ヨハネはこのような望みを持つからこそ、今、きよくあるべきであると述べる。

では、どのようにきよく生きる事ができるであろうか。①キリストとの關係を義・正しさとしてとらえる。神との正しい關係にある者は罪を犯さない。②キリストとの關係を愛としてとらえる。私たちは神(縦)との關係を、人(横)との關係なくして持ち得ない。人間關係がうまくいかない時、何かがおかしい。世の人はクリスチャンが互いに愛し合う姿をうらやむ。

私たちは、神に心から愛されている子どもであり、それゆえ神のように聖く生きるべきであり、他の人々との關係においても兄弟愛を表わすべきである。最大の質問は、みなさんがこの御父による特権をすべて受け取ろうとされるかということである。(文責・長井主恵)

本聖化交友会 (JHA) と福音文書刊行会 (EPA) との統合に関する連絡会から、記のような提案が双方の総会宛てに出されました。

「2006年の初め頃から、福音文書刊行会の実行委員会において、福音文書刊行会が現在の形態と働きに一応終止符を打ち、日本聖化交友会の傘下に入ることが検討され始めました。それに基づいてJHAとEPAと双方の代表者による連絡会が数回にわたって開かれた。その検討の途中で、二回に亘ってEPA加盟各教団への意見聴取も行われました。そうしたフィードバックと検討を経て、2006年24日の連絡会で、次のような提案を2007年3月のJHA評議員会とEPAの総会に行うことで合意しました。両会でご承認頂ければ、それぞれ、二年をかけて具体的な合併作業を行うことをも提案します。」

この提案に対して、日本聖化交友会 (JHA) (3月12日開催) は次の議決を行いました。
「日本聖化交友会は福音文書刊行会の申し出を受け入れて、その働きを継承する。この実行にあたっては、①各地区の聖化交友会の働きが充実し、発展するようにする。教団の団体加盟について積極的に働きかける。③小委員会を設けて規約を改正する。規約改正の小委員会については、日本聖化交友会の役員会に委託する。」(1年ほどの時間をかけて…)
今後、時間をかけて、統合の方向に向かっていくことでしょうか。御旨が果たされるよう、お祈りいたします。(事務局より)

月日	集会名	集会人数
10月15日(日)	プレイズ&トーク	216
10月16日(月)	レセプション	42
	講演 I	245
	講演 II	231
	神学生交歓会	101
	聖会 I	317
10月17日(火)	女性大会	318
	学びを深める時	208
	聖会 II	327

財勢

集会名	席上献金	予約献金	合計
プレイズ&トーク	95,228	—	95,228
講演 I、II	186,580	—	186,580
聖会 I	350,581	1,303,500	1,654,081
女性大会	278,266	502,500	780,766
聖会 II	583,369	163,500	746,869
合計	1,494,024	1,969,500	3,463,524

聖会 II 『より勝れた霊』

(ダニエル 6・1-4)

J・ハリマン博士

今晚は特に3節を強調したい。私たちの住むこの社会は所有欲に満ちており、この「すぐれた霊」というものは、隅に追いやられていく。今日のような社会における毎日の生活の中で、このような「すぐれた霊」を保つことができるだろうか？使徒パウロは、ピリピ書の中で、肉体的な拷問を経験する中でも「すぐれた霊」を保つことができることを実証した。

ダニエル書はアラマイク語で書かれ、「すぐれた」は「ヤテイル」という言葉が用いられている。これは「異常な」「卓越した」「極限までの」「すばい」という意味を持つ言葉で、ダニエル書に8回出てくる。

①ネブカデネザルが夢を見た金の像について(2章)、②3人の青年が投げ込まれた炉について(3章)、③④ダニエルが見た獣について(7章)、⑤ネブカデネザルのへりくだった後の状態について(4章)、そして⑥⑦⑧はダニエルの資質について(6章他)である。

1、王母の前で：5章において、バビロンの王ベルシャツアルが、宴会中に突然現れた人間の指を見て震え上がった時に、王母はダニエルを「聖なる神の霊の宿る人」として思い出した。世の人々も、私たち

の中に聖い霊が宿っているのを見る時に、それを認めるのである。

2、王の前で：王も彼をそのような人物として認めた(14節)。また王は、ダニエルに(1)高い地位(2)富(3)権力を与えると約束したが(16節)、ダニエルはそのようなものへの興味も示さなかった(17節)。彼の関心は別のところにあった。私たちが何に関心をもっているかということ、御霊の満たしには関係がある。神の多くの聖徒が、このようなものに心を奪われて墮落してしまった。新約聖書ルカ18章でイエスは、富める青年が本当は何に一番関心があったのかを明らかにされた。これは私たちが自らのすべてのものを外側において売り払うことを意味してはいない。しかし内側においては、そうなのである。ダニエルはこの真理をとらえていた。そしてそれが彼を王の前で輝かせたのである。

3、反対する同僚たちの前で：同僚の反対は、非常にづらいものがあり、私たちを限界を越えたテストにさらすものである。そのような状況の中で、ダニエルは普通の人ができるような人間的手段を用いなかっただけで、彼はいつも神と会話したのである。私たちは本

当に祈ることができる人を持っている。

今日のような世界における毎日の生活の中で、いかにして「すぐれた霊」を保つことができるだろうか。①御霊に満たして頂くこと：努力だけでは得られない。②神様を喜ばせようとする心をもつこと：1章8節に見るダニエルの決心。③神様との麗しい関係を継続すること：きよめは何か固まった状態ではなく、創造主との生きた、躍動的、継続的な関係であり、これを保つためには、その関係を開発する必要がある。これらのことにより、私たちはすぐれた霊をもつて生き続けることができる。この御霊が私たちに満ち、私たちのすべてをケアしてくださる。問題が起きるのは、自分自身を本当に放棄してないからである。きよめは意見の違いをなくさない。しかし不同意であることを同意し、互いを愛するのである。本当の自由は、自分自身を本当に放棄するまで得られない。私たちがこの霊をいだこう。

(文責・長井主恩)

2007年、聖化大会主講師紹介

ステファン・シーモンズ博士(アズベリー神学大学、大学院教授)

学歴：アズベリー大学卒(B.A.)、アズベリー神学大学院(M.Div.)、プリンストン神学校(Th.M.)、ドルー大学より哲学博士号(Ph.D.)

学生たちに一番の人気がある教授とのこと。宣教師の子息として、インドで幼少期を過ごされた。直接献身への召しを受けて、神学教育を終了された後は、合同メソジスト教会の牧師として11年間奉仕。1983年より、アズベリー神学校の教授として、教鞭を取られ、現在に至る。シーモンズ博士は古典的な神学的研究への深い洞察を実践的に生かしておられ、その授業は常に牧会者の心で語られるので、学問的かつ霊的である。因みに「子供服を着たクリスチャン」、「恵みを知らないクリスチャン」著者のデイビッド・A・シーモンズ博士はご父君にあたる。

地域だより

九州聖化大会報告

十七回を数える九州聖化交友会の大会は二〇〇六年十一月八日、日本ナザレン教団熊本教会で開催されました。この大会の講師には日本ナザレン教団理事長、那覇教会牧師齊藤清次先生をお迎えしました。

九州聖化交友会は一九九〇年に当時のナザレン熊本教会磯崎国和先生を会長に選出し、活動を開始しました。第一回から九回まではナザレン熊本教会で、その後十回目からは福岡に会場を移して六回の大会を営みました。講師は第一回から八回までを邦人の先生方を、九回から十六回までは関東等が招聘された海外の講師をお迎えしました。

からお迎え出来なくなりました。そのようなことから磯崎国和先生より齊藤清次先生を講師にご推薦いただきました。

齊藤清次先生は教団と教会のご聖務に多端のご快諾下さり、午後の聖会で「ペテロの手紙第二、第三章」に満ちた喜び、夜は「第二章十三」から「二十五節」聖なる方になら「つて」から、きよめを諄々とお語り下さいました。午後、夜の大会には熊本県内を始め九州各県から七十名前後の方々が集われ、出席者一同がきよめの恵みにあずかる幸いな大会でした。

今年では会場を福岡に移し、関東等が招聘される器をお迎えいたします。将来は、聖書の聖化の信仰の宣証、研修、普及を目指すとして規約に謳っており、九州の各地における聖化大会の開催を、と願わされております。

國重雅治

◆今春開催の全国各地の聖化大会◆

●第52回 ジョン・ウェスレーに学ぶ会

■日時 2007年5月29日(火)
開会礼拝 川原崎 晃 師
女性大会 千代崎聖子 師
聖会Ⅰ 久保木 勁 師
聖会Ⅱ 久保木 勁 師
会場 ナザレン大阪桃谷教会

●第11回 栃木聖化大会

■日時 2007年5月20日(日)
午後3～5時
■会場 栃木ホーリネス教会
■講師 飯塚俊雄師
■司会 市川赴男師

●第19回 札幌聖化大会

講師 黒木安信師
2007年
5/22(火)・23(水)
■会場
北海道クリスチャンセンター
北7西6(北大南門そば) TEL 736-3388

5/23(火)	5/24(水)
2:00pm セミナー	10:30am 聖会Ⅱ
自由時間	
7:00pm 聖会Ⅰ	7:00pm 聖会Ⅲ

■聖会Ⅱの後、教職とその家族の方々は「教職家族歓迎会」にお集まり下さい。

「肉体に宿れる残りの時」

新事務局長紹介

昨年の四月より、日本聖化交友会と関東聖化交友会の事務局でご奉仕させて頂いています。

四年前までは、サラリーマンとして、中国北京で海外勤務をしていました。定年を間近に控え、第二の人生をいかにすべきか、折っていた時、「これ今よりのち、人の慾に従はず、神の御意に従ひて肉体に寓れる残の時を過さん為なり」Iペテロ四の2の御言葉と「汝は我に従え」ヨハネ二の22の御言葉を与えられて、齢六十にして直接献身に導かれました。二年間のインマヌエル聖宣神学院での学びと訓練を経て定住伝道師のご任命をいただきました。

夕方六時近くに葡萄園に来た者ですが、主は聖化交友会の事務局という、幸いな働き場をも用意してくださいました。現在は火曜日と木曜日にOCCビル事務所に出勤して、会員の

山口民雄



皆様方の会費の受領、大会時に予約いただいた尊い献金の払い込み受領などの会計事務をルーティン・ワークとして行い、秋十月の聖化大会に向けて持たれる数回の実行委員会の資料作成、三月に持たれる評議員会の報告資料(決算書・予算表)作成を行います。また、八月半ばからは、大会の準備として案内チラシ・ポスターの作成や各集会がスムーズにできるように諸準備をいたします。

十四年の長きに亘って奉仕された前任の栗田兄のようにはなかなかいきませんが、事務局としての様々ご奉仕を通して、ホーリネスの恵みが広く宣証されますよう、願ってやみません。今後ともご教導のほど、よろしくお願い申し上げます。

総務だより

▼第41号をお届けします。格別に「JHA」と「EPA」との統合に、御旨が果たされるよう、お祈りしたく存じます。(係)